

日本ミュージアム・マネージメント学会
平成23年度 第1回基礎部門研究部会「研究発表会」

1. 開催の趣旨

23年度の年間テーマ 「ミュージアム・リテラシー～地域と協働する博物館～」

新しい博物館法や学芸員養成課程における科目数や内容の変化を視野に入れて、昨年度に引き続きミュージアム・リテラシーの研究を深めます。平成23年度は、21年度の学校教育との関係性や22年度の地域との関係性におけるミュージアム・リテラシーの考察の成果を元に、博物館職員の役割・専門性を広い視野で捉えます。新しい時代の文化を担う市民の地域参画力を高め、地域や海外と連携した経営を可能にする博物館職員のミュージアム・リテラシーのあり方について議論します。皆さんふるってご参加ください。

2. 第1回研究会テーマ

「ミュージアム・リテラシー～海外との連携～」

英国のレスター大学の Viv Golding 教授をお招きして、英国と日本における取り組みを事例に博物館職員に必要なミュージアム・リテラシーについて考察します。

3. 主催

日本ミュージアム・マネージメント学会基礎部門研究部会

4. 開催日時・場所

日時 平成23年 11月27日(日) 13:30～17:00

場所 大妻女子大学生生活科学資料館研修室

5. 発表内容

*時間・テーマ・内容は暫定的です。変更されることがありますのでご了承ください。

	発表テーマ	発表者	発表時間
1	開催の趣旨	小川義和 (国立科学博物館)	13:30～ 13:40
2	提言：英国におけるミュージアム・リテラシーの現状と課題 –理論的な背景- (仮)	Dr. Viv Golding (英国レスター大学)	13:40～ 15:00
3	休憩		15:00～ 15:30
4	職員としてのミュージアム・リテラシー ～国内外の動向から～	佐々木秀彦 (東京都美術館)	15:30～ 16:10
5	ワークショップ：博物館教育に必要な視点と理論についてのコンセプトマップ作り	奥本素子 (総合研究大学院大学) 嘉村哲郎 (東京藝術大学), 平井宏典 (共栄大学)	16:10～ 16:50
	まとめ	高安礼士 (全国科学博物館振興財団)	16:50～ 17:10

6. 大妻女子大学生活科学資料館の案内

<http://www.museum.otsuma.ac.jp/raikan.html>

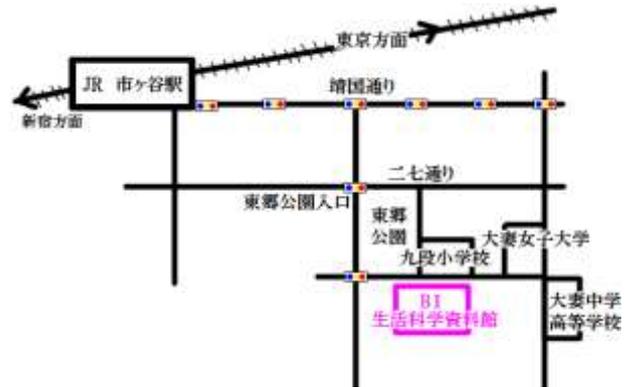
場所：大妻女子大学図書館地下1階

アクセス

JR総武線「市ヶ谷」または「飯田橋」徒歩10分

地下鉄半蔵門線「半蔵門」「九段下」徒歩10分

地下鉄南北線「市ヶ谷」徒歩10分



7. お申し込み先 (定員 30 名 : 申し込み先着順)

日本ミュージアム・マネジメント学会事務局

〒136-0082 東京都江東区新木場2-2-1

電話・ファックス 03-3521-2932

URL/ <http://www.jmma-net.jp/index.html>

e-mail/ kanri@jmma-net.jp

お申込フォーム

希望研究会名

お名前

御所属

御連絡先 (TEL 又は e-mail 等)

8. 研究発表会年間計画

基礎部門研究部会では、23年度「ミュージアム・リテラシー ～地域と協働する博物館～」として以下を実施予定。

(1) 第1回研究会

テーマ：博物館側から見たミュージアム・リテラシー～地域における博物館～

日時：平成23年11月27日(日)午後

(2) 第2回研究会

テーマ：ミュージアム・リテラシー～地域と連携した博物館経営～

概要：日本ミュージアム・マネジメント学会特別事業の一環で、教員向けに平成23年度から導入される新学芸員課程(経営論と教育論)に対応した特別研修会を実施する。「経営論」「教育論」について、対話型の博物館経営を可能とする博物館職員の役割・専門性を考察する。

日時：平成23年12月17日(土)午後

(3) 第3回研究発表会

テーマ：ミュージアム・リテラシー～未来を拓く博物館経営～(仮)

概要：学芸員養成課程における科目数や内容の変化に対応し、博物館資料を人類共有の財産として将来への継承するための博物館経営を可能とする博物館職員の役割・専門性を考察する。

日時 平成24年 春

想定発表者：指定討論者とテーマに沿った公募発表者(事務局へお申し込みください)